

令和元年度第2回 独立行政法人労働者健康安全機構契約監視委員会〔概要〕

開催日時	令和元年9月20日（金）9：00～11：05
場 所	労働者健康安全機構本部 会議室
委 員	田極 春美 （三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）主任研究員） 竹内 啓博 （公認会計士） 遠藤 和夫 （独立行政法人労働者健康安全機構監事） 藤川 裕紀子（独立行政法人労働者健康安全機構監事（非常勤））
審議事項	1. 平成31年4月から令和元年6月までに締結した契約の点検・見直しについて
議事概要	<p>1. 契約の点検・見直しについて 平成31年4月から令和元年6月までに締結した契約（1,369件）について、コスト削減、競争性の確保等の観点から点検すべき案件として選定した契約案件（7件）について審議。</p> <p>【主な指摘事項】</p> <p>○随意契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Eラーニング研修（ナーシングスキル日本版）一式」について、プログラムに基づく看護手順書等について今後も当該教材を使い続けていくことが妥当なのか看護部等と相談し、既存業者が提供するシステムだけが調達対象となることが適切か検討していくこと。 ・「MEセンター運営支援業務」について、既存業者から病院職員への限られた期間における業務引継ぎや、医療安全の管理という観点より止むを得ないと思料される。 <p>○一者応札・応募</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「マンモビューアモニタ購入」について、機器不調等に対するアフターフォローの側面を有するが、既存業者以外の業者が入札に参加しやすくなるよう、仕様書等の見直しに努めること。 ・「高機能体圧分散式エアマットレス24式」について、入札の前に複数業者からの意見を聞き参考とするなど、履行期間の見直しに努めること。 ・「病院情報システム保守業務」について、引き続き公告期間の確保（20営業日以上）や他業者への声掛けに努めること。また、予定価格について、比較に適した内容となるよう検討すること。 ・「マイクロソフト Office ライセンス更新一式」について、入札方式において総合評価落札方式を採択する場合には慎重に検討を行うこと、また十分な履行準備期間の確保に努めること。 ・「患者給食業務」について、早い時期から現場と話し合うことや、積極的に他業者情報の収集を行うことに努めること。また、予定価格について、比較に適した内容となるよう検討すること。